

榊原病院 Monthly

Vol.76
2025.June



この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である
The most important person in this hospital is the patient.

地域に根付く病院として



職員が地域の昼・夜のイベントへ参加して
きましたのでご紹介します(^ ^)

榊原温泉 田んぼアート2025

看護師長 奥田 二三子 / 林 友美

救護班として、看護師2名参加しました。

当日の気温は21℃、晴れ、風が強く体感温度はやや肌寒かったです。

今年の田んぼアートは、榊原小学校6年生の児童が、榊原から見える風車と温泉をデザインしたものでした。主催者によると参加者は約200名とのことです。

苗の種は、青森県から取り寄せているものもあるようで、デザインから起こした図案に沿って4色の苗を植えていました。

家族での参加が多いようで、子供たちは泥まみれになり元気いっぱいでした。

救護班としては、2名の方の擦り傷の処置を行いました。処置後も田植えを継続されていました。



主催者から田んぼアート（みんなで植えた苗）の見ごろは、6月下旬から7月上旬とアナウンスがありました。

榊原病院から稲葉園に向かう途中に、田んぼアートが見えるポイントがあります。

田植えをした田んぼから、風車と温泉のデザインが浮かび上がるのが楽しみです。



蛍灯－ほたるびー

看護師長 鈴木 啓介 / 服部 早織

病院近隣で行われた蛍灯－ほたるびーの初日に開かれたナイトマルシェに救護担当として参加させていただきました。

日が暮れるにしたがって来場者の数も徐々に増え、マルシェにはイルミネーションも飾られ、人と光、そしておいしい食べ物でとても賑やかになっていきました。

蛍に関しては、当日は少し風が強く例年よりも少なめとのことでしたがポツポツと煌めく様子がとても幻想的で、人の手が入っていない自然だからこそその景色と感じ、地域のすばらしさを実感いたしました。見物にみえた方々との交流の機会にもなり、貴重な体験をさせていただきました。

ありがとうございました。



事務部長 伊藤 啓之

はじめまして。令和7年4月に着任しました事務部長の伊藤と申します。

私は今回で3回目の三重県勤務となりますが、榊原の地を踏むのは初めてです。

皆さん同じようなこと言いますが、やっぱりこの地に来ての第1印象は、「なんて自然豊かな場所なんだろう」です。病院敷地内、周辺的环境はもちろんのこと、毎日の通勤途中にも、穏やかな自然を目にし、耳に聞き、うまくは表現できませんが、なんだか心洗われるような感覚になります。ずっとこの地にいると感じないのかもしれませんが、この環境で療養できることは、患者様にとって素晴らしいのではないかと感じています。

また、既に地域のイベントにもいくつか顔を出させていただき、住民の方々と接する機会もありました。その際、地域の皆様の暖かさに触れると共に、当院と榊原地区とのつながりが大変深いことを改めて実感しました。先人達が大切にしてきたこのつながりを、これからも守っていけるよう努めていきたいと思っています。

初めてづくしで、毎日が勉強のような日々を過ごしておりますが、榊原病院がこれからも発展し、より地域に必要とされる病院になれるよう尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。



看護部長 安井 千枝

4月より看護部長に就任しました安井千枝です。ふと気がつけば、看護師人生30年以上となり、臨床での経験、学校での経験がちょうど半々となりました。微力ではありますが、当院の使命を果たせるよう精一杯精進する所存でございます。

2023（令和5）年の「患者調査」に基づく厚労省の推計によれば、傷病分類別にみた入院患者数では、「精神及び行動の障害」（21万3千人）が最多であり、他の疾患の入院患者数を大きく上回っています。精神疾患をかかえた人が増加傾向にある現代社会のなかで、精神科看護のニーズは益々高まっています。私たち看護部は、常に患者さんに関心を持ち「ここに寄り添い、こころを繋ぎ、こころを高める」看護を目指しています。

緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、患者さん一人ひとりがその人らしさを取り戻していけるように、多職種と連携し、精神科看護の専門的知識や技術を用いて、患者さんのこころを包み込み寄り添える看護部組織を育んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

デイ・ケア案内

デイケアに、シン☆タイムという新しいプログラムができて3か月がたちました。基本的にはSSTと呼ばれる、困っていることにどのようにつきあっていくか、できれば改善していくか、と話し合いながら考える時間です。

これまでに、健康のこと、デイケアでの過ごし方のこと、人間関係のことなど、いろいろな話題が出てきました。時には、テーマトークで、参加された皆さんとおしゃべりを楽しむこともあります。司会をする私は、デイケアに来られるみなさまが、ほんとうに思いやりのあるアイデアを出されることに、感心することばかりです。

ところで、シン☆タイムの「シン」とは何でしょう？ 心、身、新、芯、真、いろいろな漢字をあてることができそうです。みなさんは、どんな意味を発見されますか？

午前、午後のプログラムも今まで通り継続しています。最近は麻雀人気が高く、6月は回数を増やしました。喫茶、調理、スポーツ、音楽、カラオケなども続けています。

病院のホームページや、外来に月間プログラム表がありますので、どうぞご覧ください。

こちらはスイーツの時間に作ったスコーンです。



メンバーが共同制作したカレンダーです。みゃくみゃくとあじさい。



栄養コラム



水分補給をしっかりとしましょう！

やっと、暖かくなりましたね。

6月は梅雨で湿度が上昇するとともに気温もぐんぐん上がっていく時期です。

ウォーキング・筋トレ・入浴時に湯船につかるなど、汗をかくことで本格的な夏を迎える前に、暑さに体を慣れさせましょう。

また、熱中症予防には水分補給が不可欠です。

1日飲む水分量は約1.5Lが目安になります。のどが渴いたと感じたときは、既に体が脱水状態となっています。のどが渴いていなくても「こまめに」水分補給をする習慣をつけましょう。

また、汗を沢山かいたときは塩分（ナトリウム）を含んだ飲み物（スポーツ飲料など）が効果的です。

ただし、糖分を含むものが多いため、飲みすぎには注意しましょう。

日頃飲む水分は水かお茶がお勧めです。



独立行政法人国立病院機構榊原病院

〒514-1292 三重県津市榊原町777番地

代表電話

☎ 059-252-0211

FAX 059-252-0411

HP <https://sakakibara.hosp.go.jp/>

地域医療連携室

☎ 059-252-0660

FAX 059-252-0280

訪問看護ステーションゆうはあと

☎ 059-252-0122

FAX 059-252-0126

